

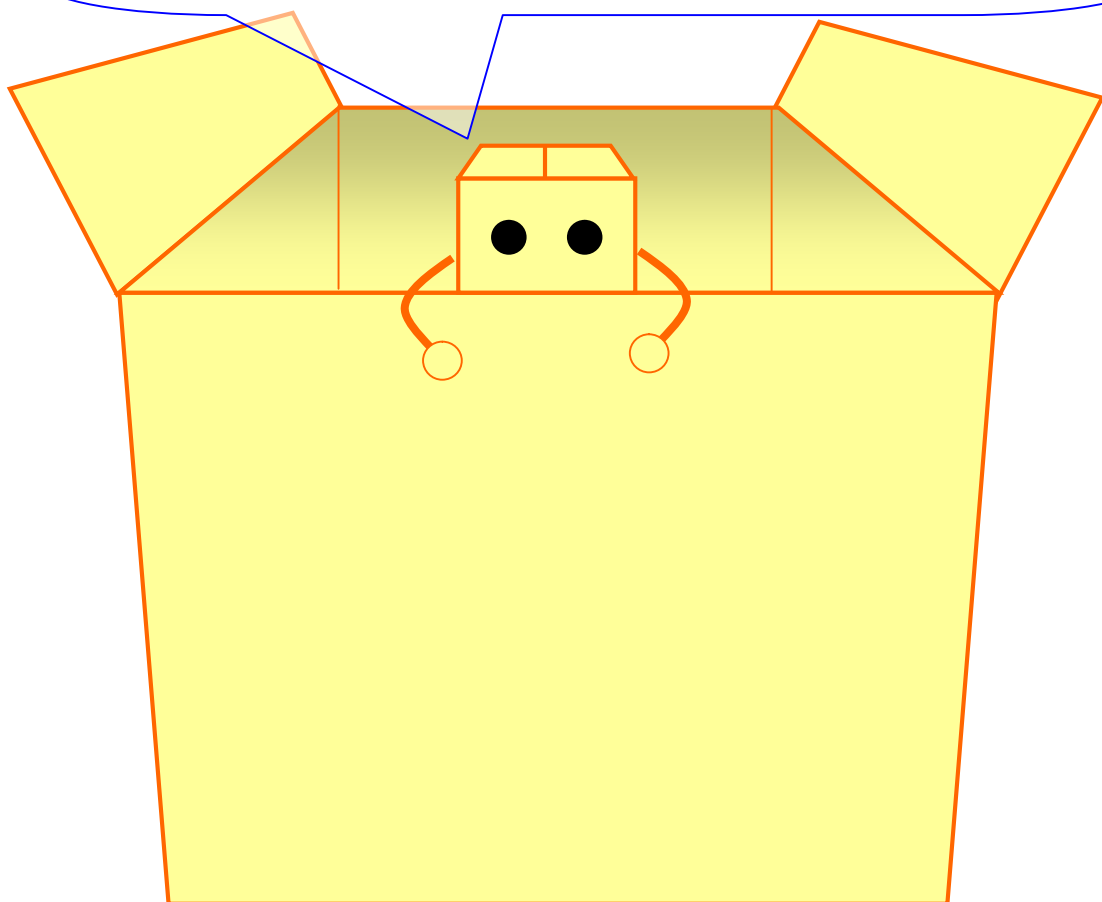


エコアクション21  
認証・登録番号0000010

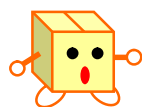
発効日：2009年5月11日

# 太陽インダストリー 段ボール事業部 戸畑工場 08年度 環境活動レポート

段ボールはリサイクル率の極めて高い製品です。  
弊社はその段ボールの製造・販売メーカーです。

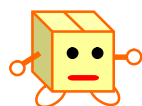


# も く じ



## 環 境 方 針

1page

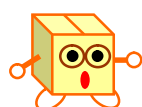


## 会 社 概 要

2page

・実施体制組織図と事業部概要

3page

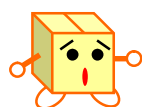


## 環 境 目 標 と その 実 績

4page

・今後の環境目標

5page



## 主 な 環 境 活 動 計 画 の 内 容 及 び 評 価

5page

・製造課の取組

5page

・業務課の取組

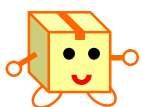
6page

・営業部の取組

6page

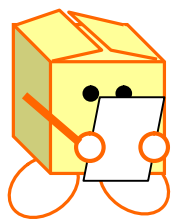
・その他の環境活動

7page



## 環 境 関 連 法 規 へ の 違 反 訴 訟 の 有 無

8page



# 環境方針

## 1.基本理念

当社は、「お客様の繁栄をお手伝いをする」ことをモットーに、人と自然との共生をめざして、快適で安全な地球環境の保全に少しでも貢献するよう社員一人一人が相違・工夫を図り環境負荷の低減に積極的に取り組みます。

## 2.環境方針

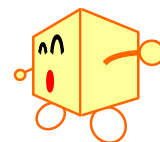
当社は、段ボールケースの製造・販売及び包装資材の販売を行っている中で環境負荷の低減を図る為、以下の環境活動を推進していきます。

- (1)環境目標を定め、定期的に見直し、継続的な環境経営システムの改善に務める。
- (2)環境に関わるあらゆる法規制とその他要求事項を遵守する。
- (3)環境管理物質の適正管理に務め、事故及び緊急事態に伴う環境影響を予防し緩和する為の対策を講じる。
- (4)当工場の事業活動に伴う影響を考慮し、以下の項目について環境改善に務める。
  - ①二酸化炭素排出量の削減。(電気使用量の削減、自動車燃料の使用量削減等)
  - ②廃棄物処分量の削減及びリサイクル率の向上。
  - ③総排水量の削減。
  - ④環境管理物質の不使用を徹底。
- (5)環境に配慮した資材の調達と生活活動の推進資源の消費者として環境に配慮した資材の調達を努めると共に生産活動による環境負荷を積極的に低減する。
- (6)継続的環境改善の実施を行い、更なる環境意識の向上及び環境教育を展開し、全従業員の環境意識を高めていく。
- (7)環境に配慮した包装材の設計を行い、包装材の使用量を削減します。



2003年10月1日制定  
2008年 4月1日改定  
太陽インダストリー株式会社  
段ボール事業部 戸畑工場  
工場長 松本 健二郎

# 会 社 概 要



## 事業所名及び代表者氏名

事業所名：太陽インダストリー株式会社 段ボール事業部 戸畑工場  
 代表者名：事業部長兼工場長 松本 健二郎

## 所在地

〒804-0071 福岡県北九州市戸畑区川代2丁目3番7号 ※戸畑工場周辺地図⇒



## 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：花田 剛  
 環境事務局：立山 実  
 連絡先： TEL：093-884-2135 FAX：093-884-2130  
 E-mail：m-tateyama@taiyo-industry.co.jp

## 事業内容

段ボールケースの製造、販売及び包装資材の販売



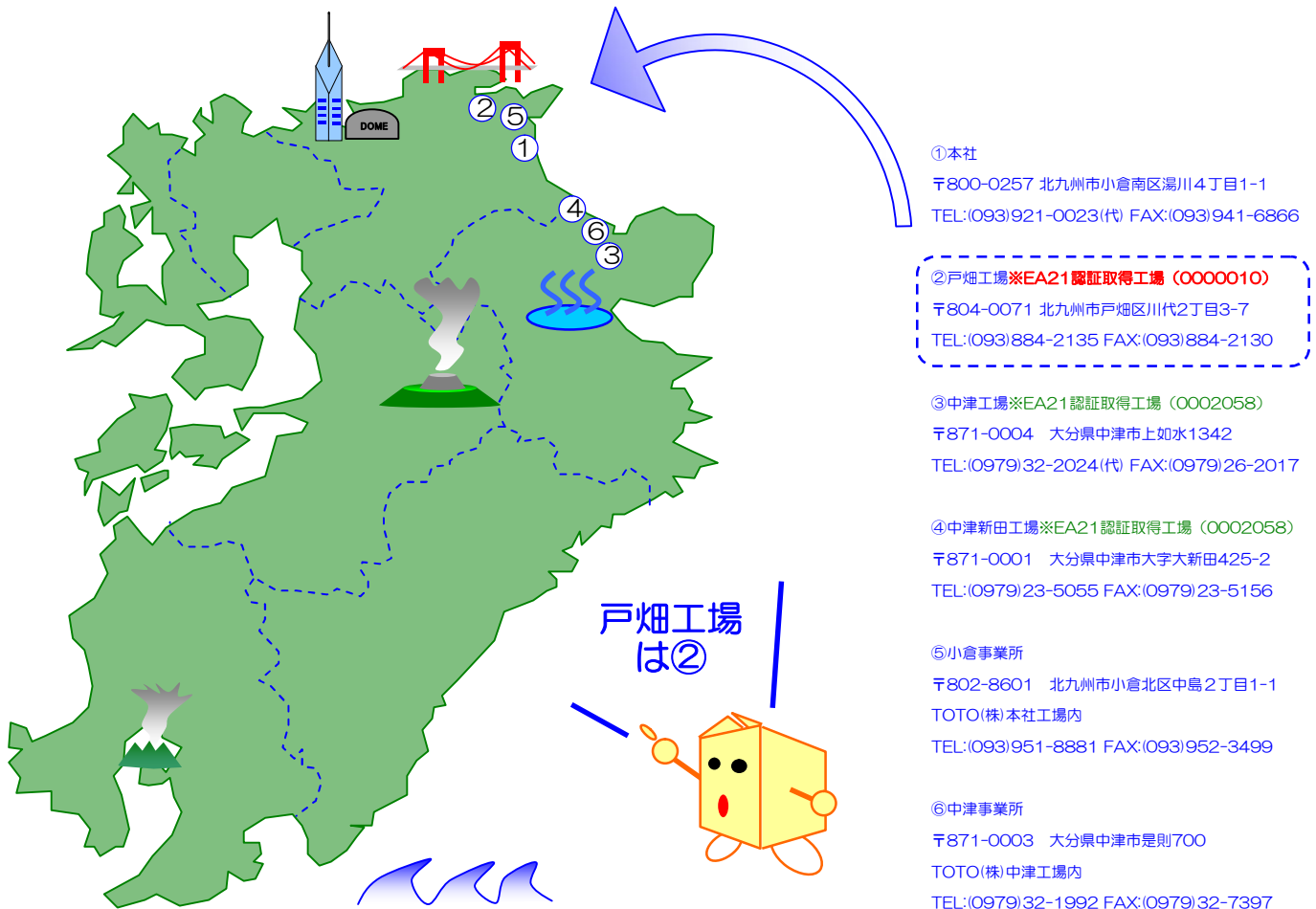
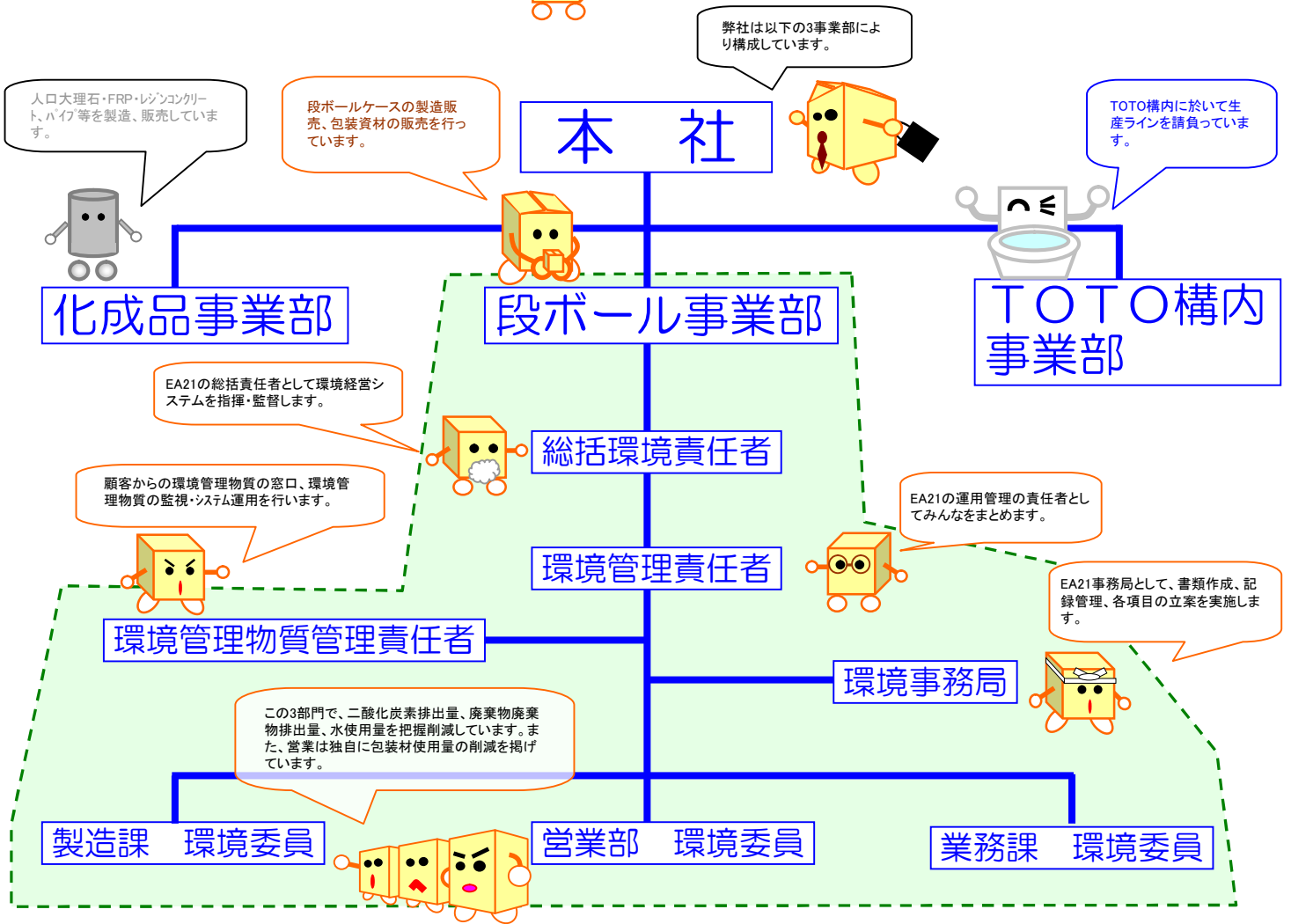
項 目	単位	2006年度	2007年度	2008年度
主要製品生産量	t	9,608	8,417	6,508
出 荷 額	万円	142,810	143,209	136,189
従 業 員 人 数	人	56	55	52
床 面 積	m <sup>2</sup>	5,156	5,156	5,156

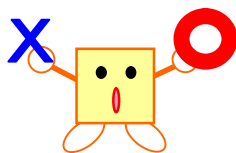
## 会社沿革

昭和33年 陶器用特殊包装資材料を考案し、太陽紙器工業を発足  
 昭和34年 段ボール製造部門を新設  
 昭和37年 小倉段ボール製造工場を建設  
 昭和40年 事業拡大に伴い、太陽紙器有限会社へと法人設立  
 昭和42年 東陶機器株式会社小倉第一工場内において、包装関係業務の請け負い開始  
 昭和43年 東陶機器株式会社中津工場内において、包装関係業務の請け負い開始当社中津工場を建設  
 昭和47年 当社中津工場内に段ボール工場を建設  
 昭和56年 小倉工場に段ボール製造工場を増設  
 平成02年 太陽インダストリー株式会社へと組織及び社名変更を行なう  
 平成03年 中津新田工場第一工場として、重量物梱包包装用段ボール製函工場を建設  
 平成12年 戸畑運輸製函株式会社より、段ボール部門の営業を譲り受け、戸畑工場を開設  
 平成15年 小倉工場を閉鎖し生産機能を戸畑工場へ集約  
 平成16年 11月15日、段ボール事業部戸畑工場が「新エコアクション21」を認証取得  
 平成18年 戸畑工場 新エコアクション21を更新  
 平成19年 北九州市主催、エコテクノ2007に出展  
 平成19年 12月4日、太陽インダストリー株式会社 中津工場・中津新田工場がEA21を認証取得  
 平成20年 北九州市主催、エコテクノ2008に出展  
 平成20年 戸畑工場 新エコアクション21を2度目の更新

※緑の字は当工場環境活動に関わる内容

# 実施体制組織図と事業部概要





# 環境目標 と その実績

2008年度の環境活動の目標と実績は以下の通りです。

項目	単位	2008年度目標	2008年度実績	判定	
二酸化炭素排出量	電気使用量	kg-CO2	195,787	142,290	○
	自動車燃料使用量 (ガソリン・軽油)	kg-CO2	45,178	43,773	○
	総量	kg-CO2	244,830	187,716	○
廃棄物排出量	トン	42.80	44.54	×	
廃棄物排出量に対する リサイクル率	%	80.5	82.7	○	
総排水量	m <sup>3</sup>	1,874	1,400	○	
包装材使用量の削減	案件/年	1案件 (1%以上の効果)	4案件/年	○	
環境管理物質の 不使用の徹底	-	不使用	不使用	○	

## 「環境目標と08年度実績」の評価

2008年度は廃棄物排出量以外は目標を達成することが出来ました。年度後半からの世界的な不景気を受けて、当工場も出荷量が落ち結果として製造時に使用する電気の使用量が落ち、電気使用量による二酸化炭素排出量は大幅に減りました。

水の使用量も同様に、出荷量が落ちた事が削減に繋がった要因だと思いますが、もちろん、過去4年間実施してきた業務課の環境活動も貢献しています。

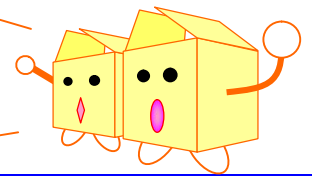
廃棄物排出量については、年度末に「次年度処分する予定の物」を含め不要物の処分を一斉に実施しましたので、その際に木屑関係が通常の倍以上の処分量になり、結果目標値を超えてしまいました。

また、今年度から環境方針、目標に掲げた「包装材使用量の削減」については、梱包する段ボールの使用平米量を削減する事をお客様にご提案し、環境負荷とコスト削減に貢献する環境目標ですが、09年3月時点で4案件(品番)使用量の削減を提案、実施する事ができました。これは440kg/年、相当の削減効果を期待できます。



# 今後の環境目標

減らせ無駄  
増やせエコ活動



項目	単位	基準値 (05年度～07年度実績値の平均)	2009年度 目標	2010年度 目標
二酸化炭素排出量	電気使用量	kg-CO2	197,765	193,829
	自動車燃料使用量	kg-CO2	45,634	44,726
	総量	kg-CO2	247,303	242,381
廃棄物排出量	ト	43.24	42.38	41.95
廃棄物排出量に対するリサイクル率	%	79.7%	81.3%	82.1%
総排水量	m <sup>3</sup>	1,893	1,856	1,837
包装材使用量の削減	案件/年	1案件 (1%以上の効果)	1案件 (1%以上の効果)	1案件 (1%以上の効果)
環境管理物質の不使用の徹底	-	不使用	不使用	不使用

## 主な環境活動計画の内容及び評価

2008年度、当工場において実施した環境活動の報告です。



### 製造課の電気使用量削減による 二酸化炭素排出量の削減

#### 取組内容

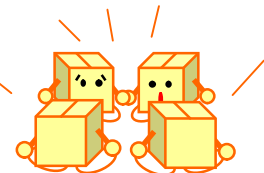
昨年～今年度と、工場製造側の電灯電力の使用経路を把握し、最適な電灯配置、配線の位置を決め電灯の場所や無駄な使用が無いかを確認しました。そのレイアウト変更を製造課で話し合い、最終的に配置を決め、配線箇所などを工事し変更します。

#### 評価

工事の見積もりを取った結果、工事費用が71万円掛かります。月当たり124kwh、1260円弱相当の効果がありますが、回収にかかる時間が約47年と非常に長く対費用効果として見た場合には投資に値しないと判断しましたので、今回は工事をせずに見送る事にしました。ただ、1年間調査した結果細かい事まで分かりましたので次回の取組に活かしていきます。



### 製造課の一般ゴミ排出量削減による 廃棄物排出量の削減



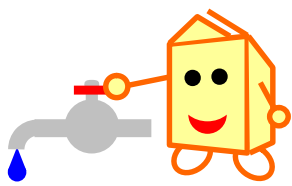
#### 取組内容

昨年度から各課の代表者を集めて月に一度会議を開き、そこで各意見をやり問題点を話し合っています。今年ミーティングの結果、主に取り組んだ内容として以下の事を取り組みました。

- ・ゴミ箱の配置を変え今まで以上に分別収集を図りました。
- ・事務所関係からでるメモ紙等を一般ゴミで捨てずにシュレッダー処分するように取り決めました。
- ・お土産等の外部からのゴミで紙の物は全て紙リサイクルに回すようにしました。

#### 評価

上記の内容の結果「一般ゴミ」は07年度の2.69トから08年度は1.70トと約1ト近く削減できました。ゴミ袋で言えば1074袋から679袋へと削減することが出来、63200円の経費も削減出来ました。分別収集と紙関係のリサイクルを推進した結果が功を奏しました。



## 業務課の水使用量削減による 総排水量の削減

### 取組内容

基本的に、今までと同じですが、日々の水量を確認し、節水の呼びかけと水漏れの確認を実施してきました。配水管の配置図を基に老朽化した蛇口の調査を行い徹底した無駄を軽減する活動を行ってきました。

### 評価

結果としては、前期よりも312m<sup>3</sup>も削減できましたが、これは環境目標の所でも申し上げた通り、世界的な不況からくる出荷量の削減が大きな要因となっております。但し、常日頃からの節水の呼びかけと水漏れの調査のお陰で少しでも無駄な使用は差し控えられていると思います。



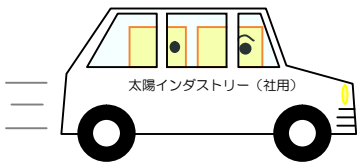
## 業務課のグリーン購入の推進

### 取組内容

業務課が事務用品等を購入する際に環境に配慮された製品であるエコマーク商品やGPNDB掲載品、グリーン購入法適応商品の3点を満たす製品を積極的に購入するようにしています。その為の購入品リストを作成しており、また購入した際には購入の実績を記録保管しています。

### 評価

年間を通して98品目購入をし内25品目が上記3点の適応外の製品です。現状代替が出来そうなものは順次ECO品へ切り替えています。



## 営業部の自動車燃料削減による 二酸化炭素排出量の削減

### 取組内容

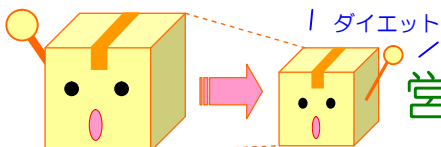
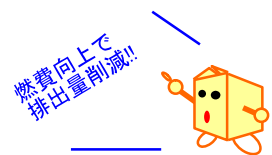
昨年に引き続き、「エコドライブ10か条」を取り組んでいます。これは、チーム・マイナス6%運営事務局が提唱する「エコドライブ10のススメ」を基に「エコドライブ10ヶ条」を作成したものです。営業員に「10ヶ条」の内容を書いたカードを携帯させ、エコドライブに努めるように周知しています。

車の買い替え時には低燃費車を選定し購入しています。今年はトヨタのビッツを購入し更なる二酸化炭素排出量の削減に貢献しています。

### 評価

目標値に対して、-1405kg-CO<sub>2</sub>と目標は達成したものの、ガソリンの使用量は前年度比で+699%と増えてしまいました。不確定要素の強い項目なので一様に使用量削減は進みませんが燃費を一つの指標にして燃費向上に努めひいては使用量の削減を目指していきたいと思えます。(下記に過去3カ年のデータを記載)

年度	ガソリン車 (8台平均値)			軽油車 (1台)		
	給油量(%)	走行距離(km)	燃費(km/L)	給油量(%)	走行距離(km)	燃費(km/L)
2008年度	16,734	225,882	135	1,174	15,593	13.3
2007年度	16,035	217,168	135	2,020	19,338	9.6
2006年度	17,407	227,867	13.1	3,793	35,782	9.4



## 営業部の包装材使用量の削減

### 取組内容

今年度から始めた取組です。昨年度の紙購入量削減からより、当社の事業内容に変わる取組へという事で始めたものです。具体的には、現在、お客様へ納品している形状からコストダウンの意味も込めてより使用m<sup>2</sup>数を減らしたものを提案して1ケース辺りの使用量を下げ、ひいては年間を通して製造に関わる色々な排出量を減らすという壮大な内容の取組ですが、千里の道も一歩からということでは1年に1案件の改善提案を掲げ始めました。

### 評価

09年3月末時点で4案件の改善提案を行う事が出来ました。環境目標の欄にも記載しましたが、この改善提案で年間440kg相当の使用量削減効果が見込めそうです。(前年出荷量から算出)



## その他 環境に関する活動(環境コミュニケーション)



### 取組内容

昨年引き続き、北九州市で毎年開催されていますエコテクノに出展しました。段ボールをより身近に感じてもらう為に昨年度よりも多くのキッズグッズを出展し皆様の反響を頂きました。特に今回は、ブランコのような大きなものから、ソファ、テーブルの家具などを展示しました。

年齢層が高めにはなりますが、段ボール製のバケットシートも今回の展示品の目玉の一つで、従来プラスチックやステンレス等買ったのはいいが処分にかかるような物を段ボールで作ることにより、低価格、処分のしやすさと言った事が今回の展示会で提案できたかと思えます。

また、今回の出展にあたり、大分県国東市にあります。アキ工作社様にご協力して頂き、左写真の左側の段ボール製実寸大の馬を出展させて頂きました。そして、右写真がアキ工作社様設計のF-3実寸大モデルです。アキ工作社はこういったオブジェを段ボールを使って製造販売しているメーカーです。今後、こういった方々と提携させて頂き、リサイクル率に優れた環境にやさしい素材の段ボールを使用して、包装材以外の用途で皆様方にご提案し既存の製品を段ボールに置き換えていければと考えています。(※写真左の馬と右のF-3は両方ともアキ工作社の製品です。弊社は大型の製品の製造を請け負っております。)



### 取組内容

毎年10月の最初の日曜日に北九州市では「市民いっせいまち美化の日」と称してボランティアによるゴミ拾いが市内で行われます。その行事に弊社も参加しています。今年で3回目となり、すっかり定番の行事となりました。ゴミ拾いをする場所は弊社工場がある戸畑区の川代周辺が主ですが、少しでもみんなの役に立てればという思いで08年は計18名参加いたしました。

また、それとは別に毎月1回、自主的にですが工場の廻りを清掃しています。地球環境を良くするにはまず身の回りからと言うわけで、今後ともこの活動を続けてまいります。



### 取組内容

2006年度からはじめた新規事業の一つ段ボール製の玩具、キッズグッズ。段ボールで子供向けのおままごとハウス、木馬、幼児用学習机等、様々なものを作成しました。そして市内の幼稚園に配布するなど様々な活動を実施してきました。去年度は市内ディーラーに展示させて頂き、そこから販売をするといった活動を行い、今年度は北九州市の「こどもの館」に展示させて頂きました。

メディア等に取り上げられることもありましたが、こうゆう直に触れて貰う場に展示させていただく事により多くの方に段ボールに触れて頂き興味を持って頂ければ幸いです。

# 環境関連法規への違反訴訟の有無

当工場に適用される環境に関する法規については、下記の法律を遵守しています。尚、法規確認の結果違反は無く、関係当局並びに利害関係者からの指摘もありませんでした。

該当法律	遵守事項	当工場の対象設備等
北九州市 公害防止条例	①第2条の特定施設に該当し、第6条に基づき届出を提出している。 ②第4条で定められた規制基準（特定工場規制基準）を遵守している。（当工場は第四種区域に該当する。） ③第25条に基づき公害防止担当者を選任届出を提出している。	①コピー機×2台・印刷機×2台 ②戸畑工場 ③製造課長 佐藤 康
消 防 法	①第8条1項に基づく防火管理者の選任届出。 ②第8条1項に基づく消防計画の作成届出。 ③第8条1項に基づく避難訓練の実施、記録作成。	防火管理者 製造係長 船田 剛
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	①第12条2項に基づく産廃の保管義務。（産業廃棄物保管基準（規則8条）による表示義務） ②第12条の3に基づくマニフェストの管理義務。	産業廃棄物 汚泥 廃プラ 金属屑 廃油 木屑

段ボールは何度も段ボールとして利用されます。リサイクル率93%!!

